

ブラジル・メキシコ・アルゼンチン 経済・金融概況 (2024年1月)

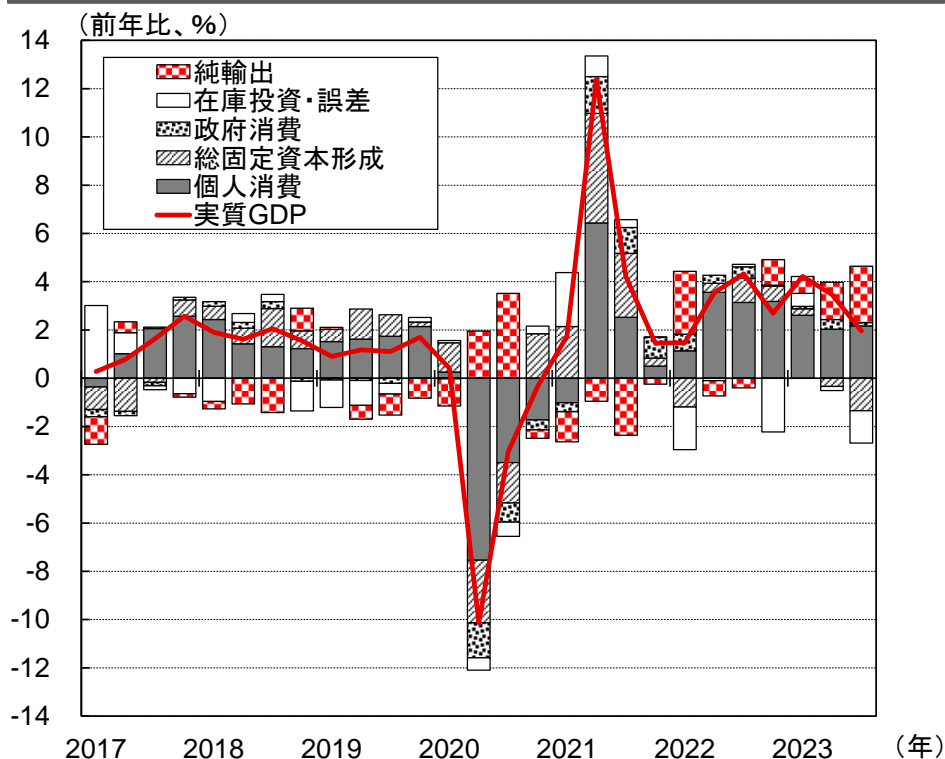
2024年1月15日

三菱UFJ銀行 経営企画部 経済調査室

1. ブラジル (1) 景気概況

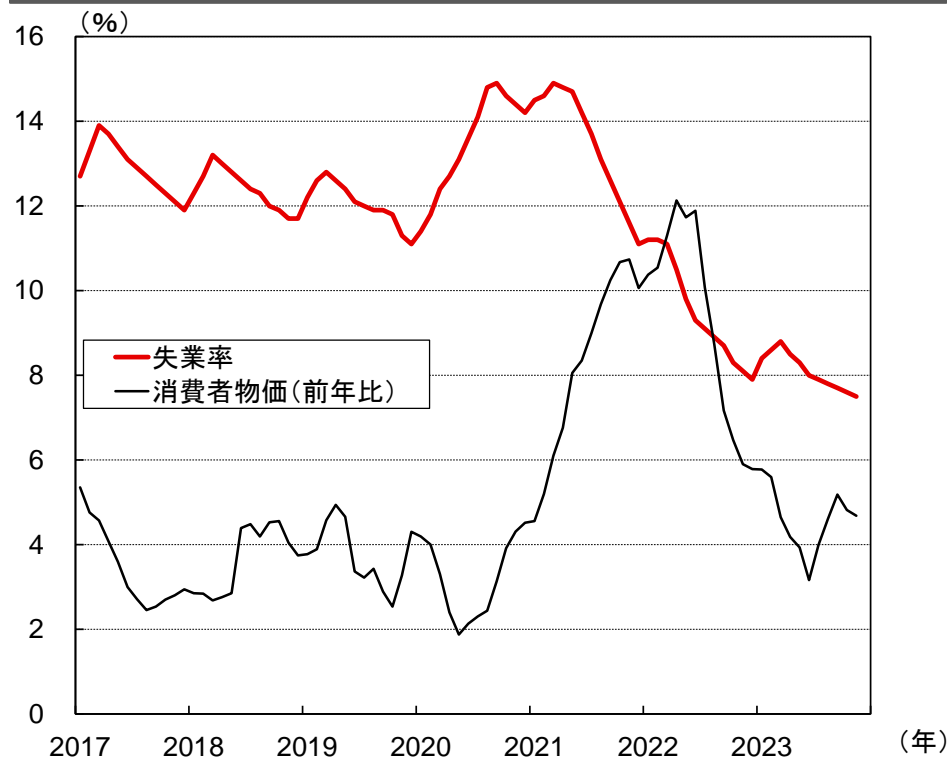
- 2023年7-9月期の実質GDP成長率は前年比+2.0%と前期(同+3.5%)から減速。需要項目別の寄与度では、純輸出(同+2.3%ポイント)が前期からプラス幅を拡大したほか、個人消費(同+2.2%ポイント)が堅調に推移。一方、総固定資本形成(同▲1.3%ポイント)と在庫投資・誤差(同▲1.3%ポイント)が前期からマイナス幅を拡大。
- 11月の失業率は7.5%と低位で推移。
- 消費者物価上昇率は、9月にエネルギー価格高騰の影響により前年比+5.2%に上昇したものの、11月は同+4.7%と伸びが鈍化。

実質GDP成長率の推移



(資料)ブラジル地理統計院統計より国際通貨研究所作成

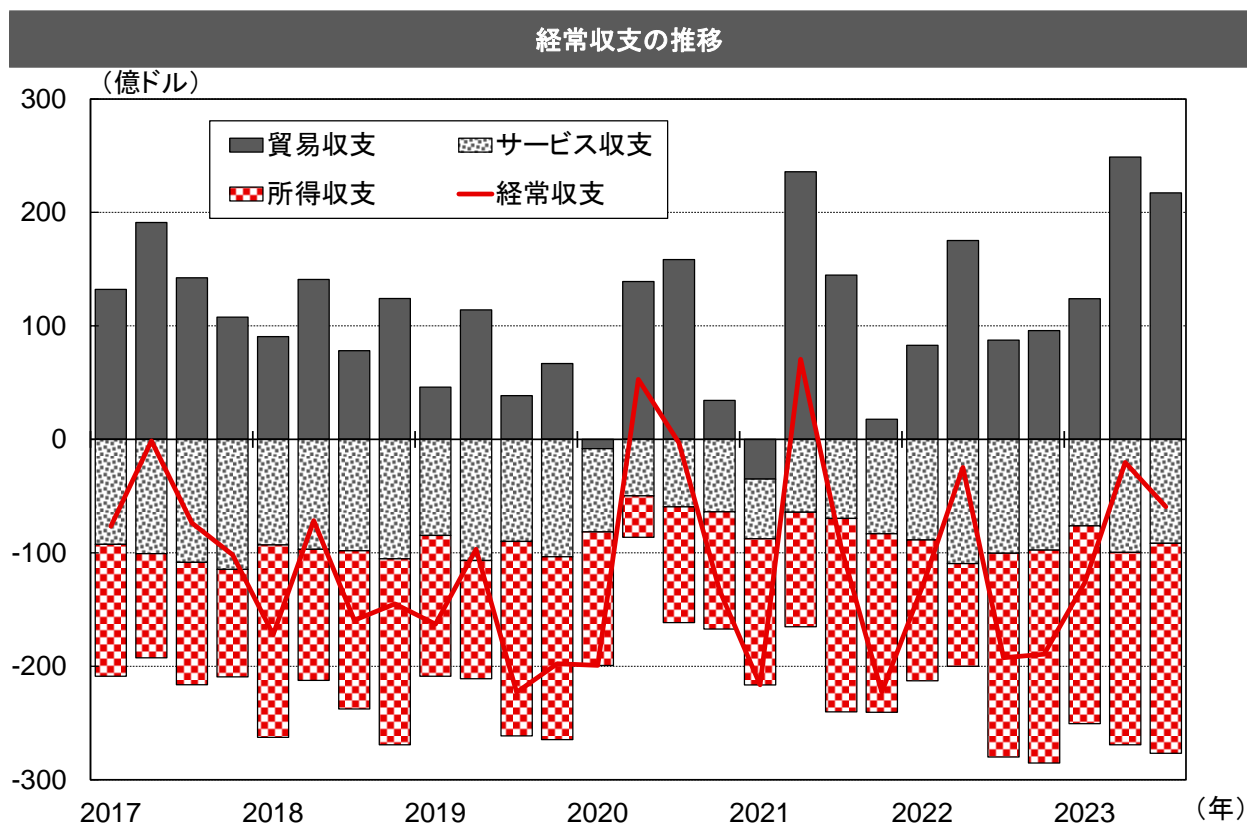
失業率と消費者物価上昇率の推移



(注)『失業率』は未季節調整値。
 (資料)ブラジル地理統計院統計より国際通貨研究所作成

1. ブラジル (2) 経常収支

- 2023年7-9月期の経常収支は▲59億ドルと、前年同期の▲192億ドルから赤字幅が縮小。
- 内訳をみると、農産物輸出の好調に伴い貿易収支が217億ドル(前年同期比+130億ドル)と黒字幅を拡大したほか、サービス収支が▲92億ドル(同+9億ドル)と赤字幅を縮小。所得収支は▲185億ドル(同▲5億ドル)と前年と同水準。

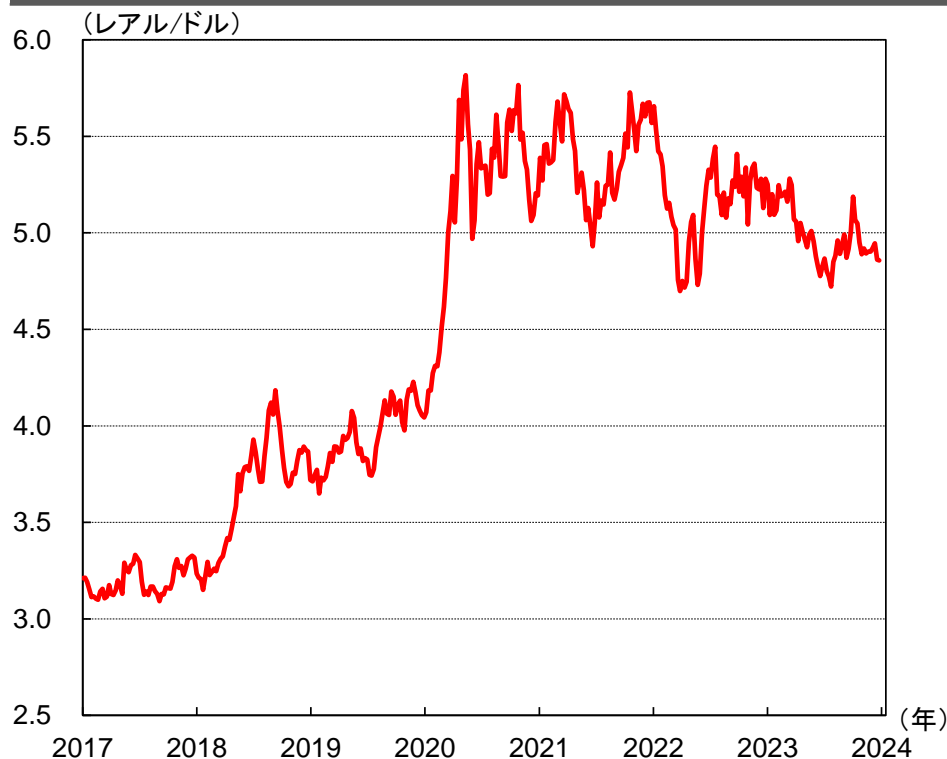


(資料)ブラジル中央銀行統計より国際通貨研究所作成

1. ブラジル (3) 金融市場

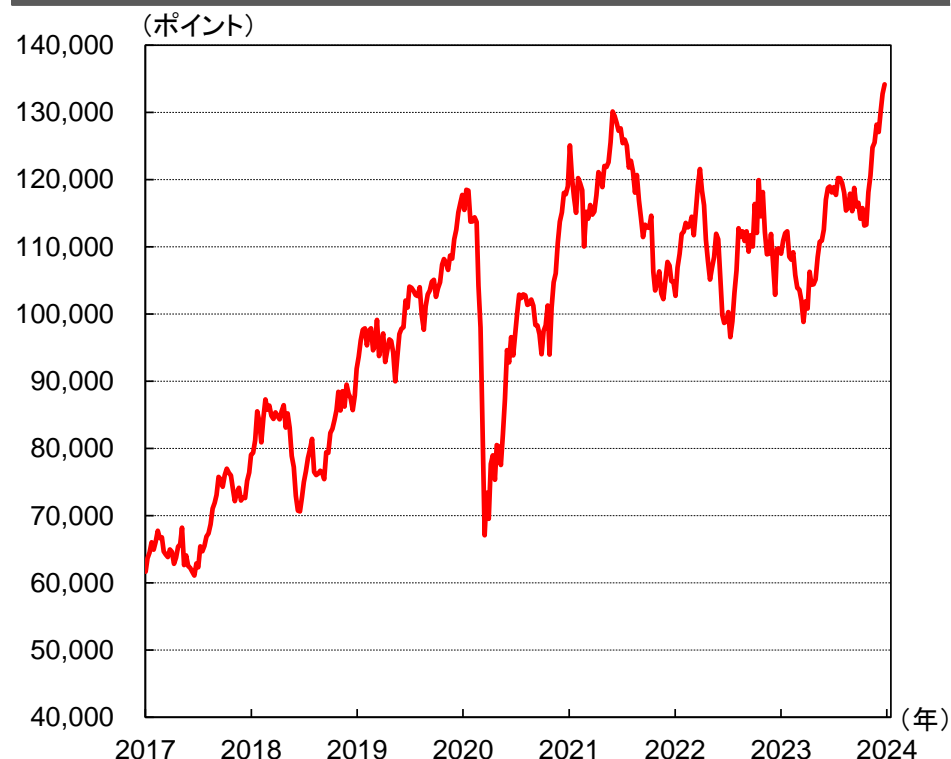
- ブラジルレアルの対ドル相場は、2023年12月時点で1ドル=4.8レアル近辺で推移。
- 8月以降、ブラジル中銀は金融政策委員会において政策金利を4会合連続で0.5%ポイントずつ引き下げ、12月時点で11.75%とした。
- 株価(ボベスパ指数)は、企業の好決算や利下げの進展等を背景に、足元で134,000ポイント台に上昇。

ブラジルレアル(対米ドル)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

株価(ボベスパ指数)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

1. ブラジル (4) 経済・金融概況

ブラジルの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2020	2021	2022	22/10-12	23/1-3	4-6	7-9	23/9	10	11	12
実質GDP成長率(前年比、%)	(▲3.3)	(4.8)	(3.0)	(2.7)	(4.2)	(3.5)	(2.0)				
経済活動指数○	132.98	139.15	143.22	143.82	145.84	147.23	146.65	146.26	146.17	—	—
鉱工業生産(前期比、%)○	(▲4.7)	(4.2)	(▲0.7)	(▲0.0)	(▲0.0)	(0.3)	(▲0.1)	(▲0.0)	(0.1)	—	—
設備稼働率○	(76.8)	(81.0)	(80.5)	(79.8)	(79.2)	(78.9)	(78.6)	(78.6)	(78.8)	—	—
小売売上高(前年比、%)	(1.1)	(2.2)	(1.1)	(1.5)	(2.4)	(0.3)	(2.7)	(3.2)	(0.2)	—	—
自動車国内販売台数(千台)	2,058	2,120	2,104	602	472	527	631	198	218	213	—
失業率(%)	(13.5)	(13.5)	(9.5)	(8.1)	(8.6)	(8.3)	(7.8)	(7.7)	(7.6)	(7.5)	—
消費者物価上昇率(IPCA) (前年比、%)	(3.2)	(8.3)	(9.3)	(6.1)	(5.3)	(3.8)	(4.6)	(5.2)	(4.8)	(4.7)	—
卸売物価上昇率(前年比、%)	(16.2)	(37.0)	(11.2)	(5.8)	(0.5)	(▲7.5)	(▲10.7)	(▲9.5)	(▲7.6)	(▲6.1)	(▲5.6)
輸出(FOB)(億ドル)	2,092	2,808	3,341	830	774	909	890	290	298	281	—
(前年比、%)	(▲5.4)	(34.2)	(19.0)	(21.6)	(5.4)	(▲1.6)	(▲2.8)	(▲4.2)	(8.3)	(▲1.0)	—
輸入(FOB)(億ドル)	1,588	2,194	2,726	734	650	660	673	215	223	214	—
(前年比、%)	(▲14.6)	(38.2)	(24.2)	(10.4)	(▲0.2)	(▲11.8)	(▲18.7)	(▲23.8)	(▲12.8)	(▲9.6)	—
貿易収支(億ドル)	504	614	615	96	124	249	217	75	76	67	—
経常収支(億ドル)	▲282	▲464	▲536	▲189	▲126	▲20	▲59	▲11	▲0	▲16	—
直接投資ネット流入(億ドル)	378	464	872	184	187	106	123	38	33	78	—
外貨準備高(億ドル)◎	3,320	3,094	3,075	2,719	2,837	2,915	3,092	3,092	3,024	3,114	—
ベースマネー(億リアル)◎	4,315	4,092	4,197	4,197	4,133	4,031	4,045	4,045	3,974	4,056	—
政策金利(Seric Target rate)◎	(2.00)	(9.25)	(13.75)	(13.75)	(13.75)	(13.75)	(12.75)	(12.75)	(12.75)	(12.25)	(11.75)
対米ドル為替相場◎	5.196	5.580	5.217	5.217	5.080	4.819	5.007	5.007	5.057	4.935	4.841
株価指数(ボベスパ指数)◎	119,017	104,822	109,735	109,735	101,882	118,087	116,565	116,565	113,144	127,331	134,185

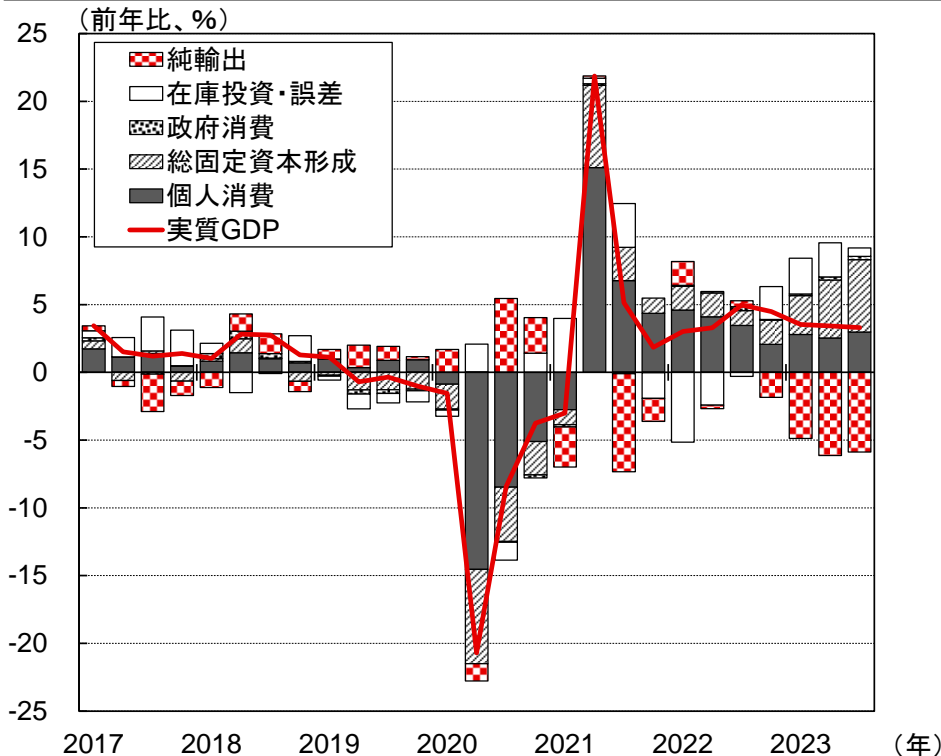
(注)◎印: 期末値、○印: 季節調整値

(資料) ブラジル中銀、ブラジル地理統計院(IBGE)、世界銀行、サンパウロ証券取引所より国際通貨研究所作成

2. メキシコ (1) 景気概況

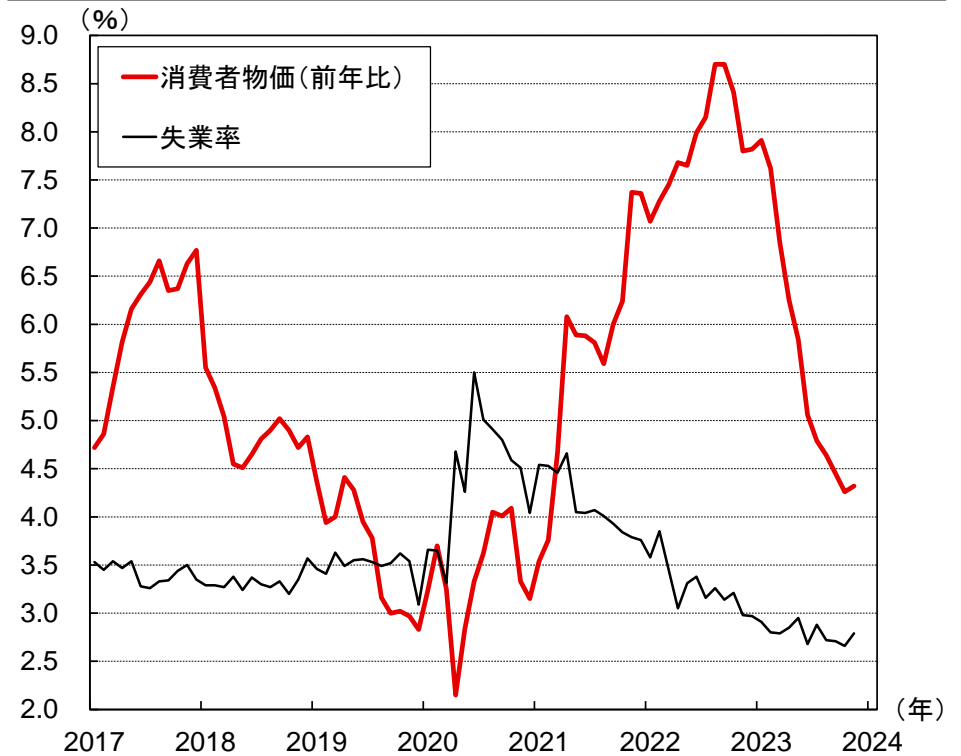
- 2023年7-9月期の実質GDP成長率は前年比+3.3%と前期(同+3.4%)からほぼ横這い。需要項目別の寄与度では、総固定資本形成(同+5.3%ポイント)と個人消費(同+3.0%ポイント)がプラス幅を拡大した一方、在庫投資・誤差(同+0.6%ポイント)はプラス幅を縮小。純輸出(同▲5.9%ポイント)は横這い推移。
- 11月の失業率は2.8%と低位で推移。
- 11月の消費者物価上昇率は前年比+4.3%と減速傾向。メキシコ中銀の定めるインフレ目標(前年比+3%±1%)の上限に接近。

実質GDP成長率の推移



(資料) 国立統計地理情報院統計より国際通貨研究所作成

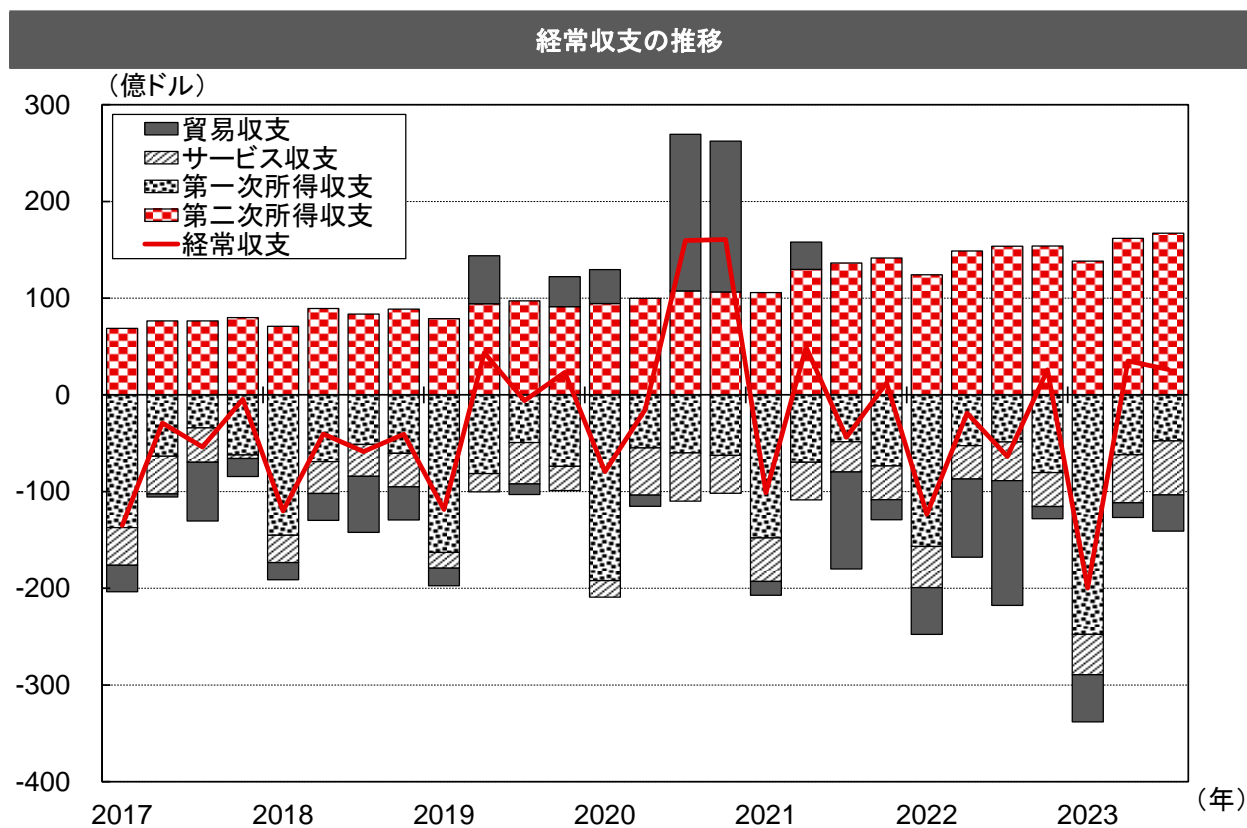
消費者物価上昇率と失業率の推移



(資料) 国立統計地理情報院統計より国際通貨研究所作成

2. メキシコ (2) 経常収支

- 2023年7-9月期の経常収支は26億ドル(前年同期比+90億ドル)と、2四半期連続の黒字。
- 内訳をみると、第二次所得収支が在米メキシコ人からの郷里送金の増加により167億ドル(前年同期比+13億ドル)と黒字幅が拡大したほか、貿易収支が▲37億ドル(同+92億ドル)と赤字幅が縮小。一方、サービス収支は▲56億ドル(同▲16億ドル)と赤字幅が拡大。

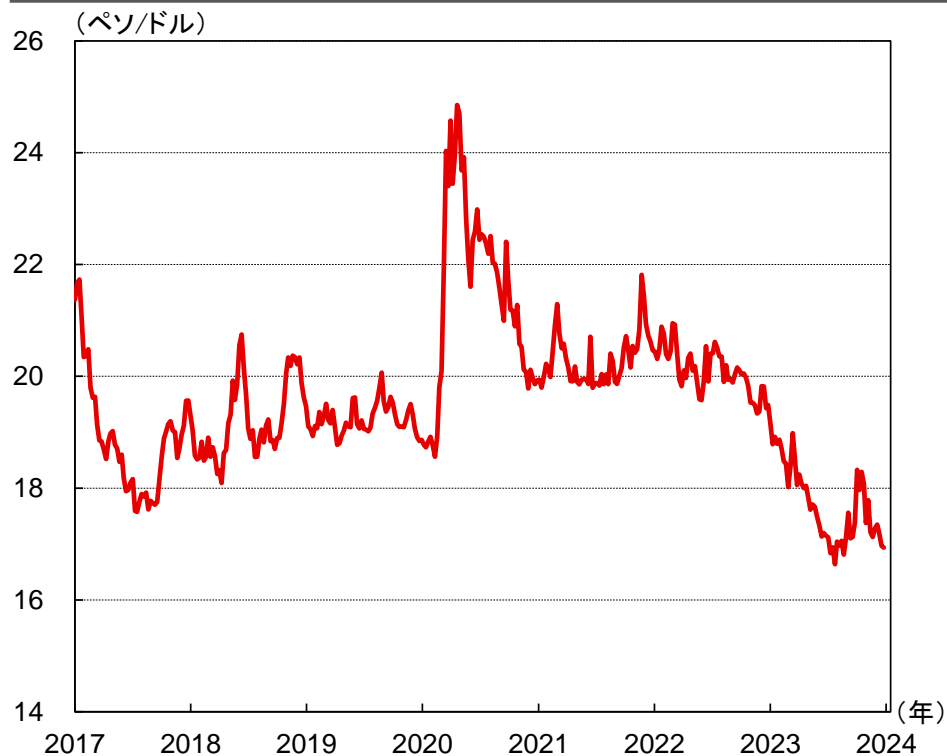


(資料)メキシコ中央銀行統計より国際通貨研究所作成

2. メキシコ (3) 金融市場

- メキシコペソの対ドル相場は小幅に上昇し、1ドル=17ペソ近辺で推移。
- メキシコ中銀は12月の金融政策会合にて、6会合連続で政策金利を11.25%に据え置き。
- 株価(ボルサ指数)は10月以降、米国の利下げ観測を受け、57,000ポイント台まで上昇。

メキシコペソ(対米ドル)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

株価(ボルサ指数)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

2. メキシコ (4) 経済・金融概況

メキシコの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2020	2021	2022	22/10-12	23/1-3	4-6	7-9	23/9	10	11	12
実質GDP成長率(前年比、%)	(▲8.6)	(5.7)	(4.0)	(4.5)	(3.5)	(3.4)	(3.3)				
鉱工業生産(前期比、%)○	(▲9.3)	(6.8)	(5.3)	(0.8)	(0.4)	(1.8)	(1.5)	(0.2)	(0.6)	—	—
自動車生産台数(千台)	3,046	3,028	3,308	797	922	970	959	339	378	329	—
自動車販売台数(千台)	949	924	897	252	315	318	343	118	114	129	—
原油産出量(千バレル/日)*	1,912	1,926	1,944	1,953	2,040	2,076	2,025	2,040	2,023	2,025	—
(前年比、%)	(▲0.4)	(0.7)	(0.9)	(0.6)	(4.8)	(7.8)	(3.9)	(4.6)	(3.7)	(3.4)	—
原油輸出価格(米ドル/バレル)	36.1	65.6	88.9	75.4	66.0	65.9	76.9	81.8	81.3	74.7	—
失業率(%)○	(4.4)	(4.1)	(3.3)	(3.1)	(2.8)	(2.8)	(2.8)	(2.7)	(2.7)	(2.8)	—
消費者物価上昇率(前年比、%)	(3.4)	(5.7)	(7.9)	(8.0)	(7.5)	(5.7)	(4.6)	(4.5)	(4.3)	(4.3)	—
輸出(FOB)(億ドル)	4,172	4,949	5,777	1,478	1,411	1,509	1,496	497	520	503	—
(前年比、%)	(▲9.4)	(18.6)	(16.7)	(9.2)	(6.8)	(1.4)	(0.4)	(▲5.1)	(5.6)	(2.0)	—
輸入(CIF)(億ドル)	3,830	5,057	6,046	1,490	1,459	1,524	1,533	511	522	496	—
(前年比、%)	(▲15.9)	(32.0)	(19.6)	(8.4)	(6.5)	(▲2.8)	(▲5.3)	(▲3.9)	(1.8)	(0.4)	—
経常収支(億ドル)	225	▲83	▲180	25.8	▲199.9	35.0	26.3				
資本収支(億ドル)	▲0	▲0	▲1	▲0.1	0.9	▲0.1	▲0.4				
外貨準備高(億ドル)◎	1,957	2,024	1,991	1,991	2,023	2,032	2,038	2,038	2,044	2,068	2,128
ベースマネー(億ペソ)◎	21,182	24,408	27,000	27,000	26,812	26,849	27,028	27,028	27,185	27,800	29,605
政策金利◎	(4.25)	(5.50)	(10.50)	(10.50)	(11.25)	(11.25)	(11.25)	(11.25)	(11.25)	(11.25)	(11.25)
対米ドル為替相場◎	19.91	20.47	19.47	19.47	18.04	17.14	17.41	17.41	18.04	17.37	16.97
株価指数(ボルサ指数)◎	44,067	53,272	48,464	48,464	53,904	53,526	50,875	50,875	49,062	54,060	57,386

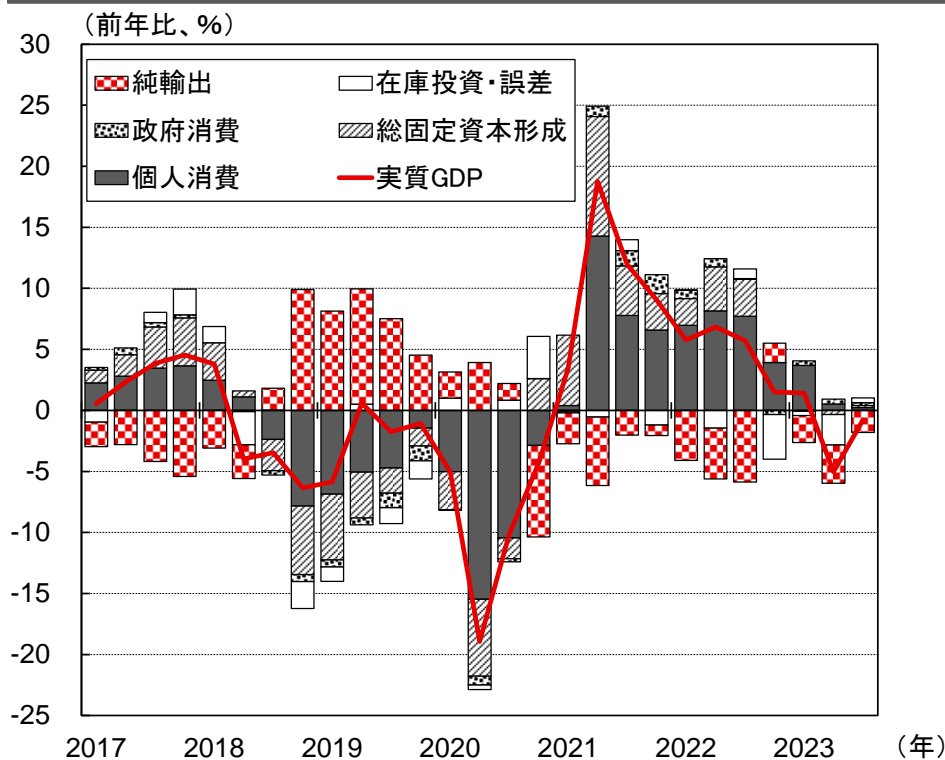
(注)*印:期中平均値、◎印:期末値、○印:季節調整値

(資料)メキシコ中銀、国立統計地理情報院(INEGI)、PEMEXより国際通貨研究所作成

3. アルゼンチン (1) 景気概況

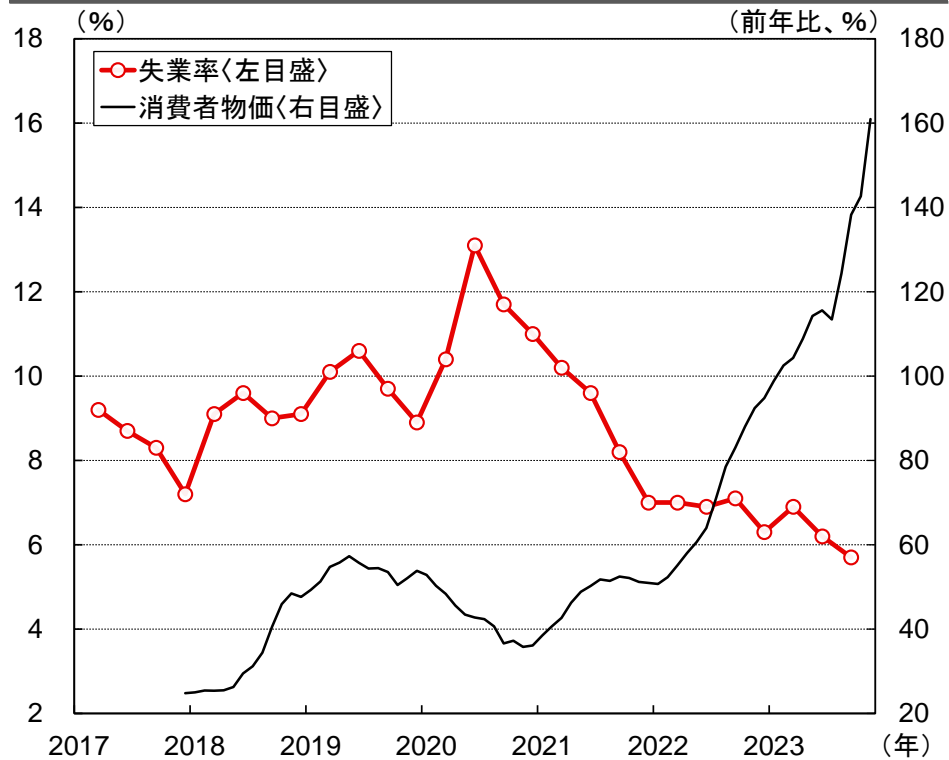
- 2023年7-9月期の実質GDP成長率は前年比▲0.8%と前期(同▲5.0%)からマイナス幅が縮小。需要項目別の寄与度では、純輸出(同▲1.8%ポイント)が輸出の増加により前期からマイナス幅を縮小したほか、在庫投資・誤差(同+0.4%ポイント)がプラスに転じた。
- 11月の消費者物価上昇率は、通貨ペソの公式レート切り下げに伴い、前年比+160.9%と伸びが加速。
- 7-9月期の失業率は5.7%と低位で推移。

実質GDP成長率の推移



(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

失業率と消費者物価上昇率の推移

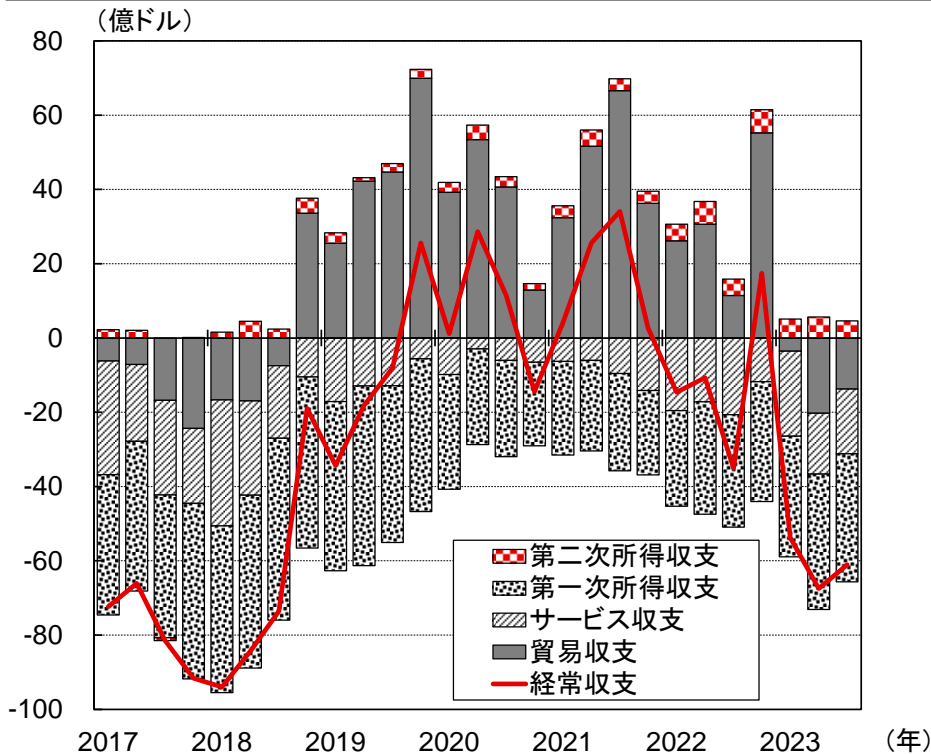


(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

3. アルゼンチン (2) 経常収支・外貨準備高

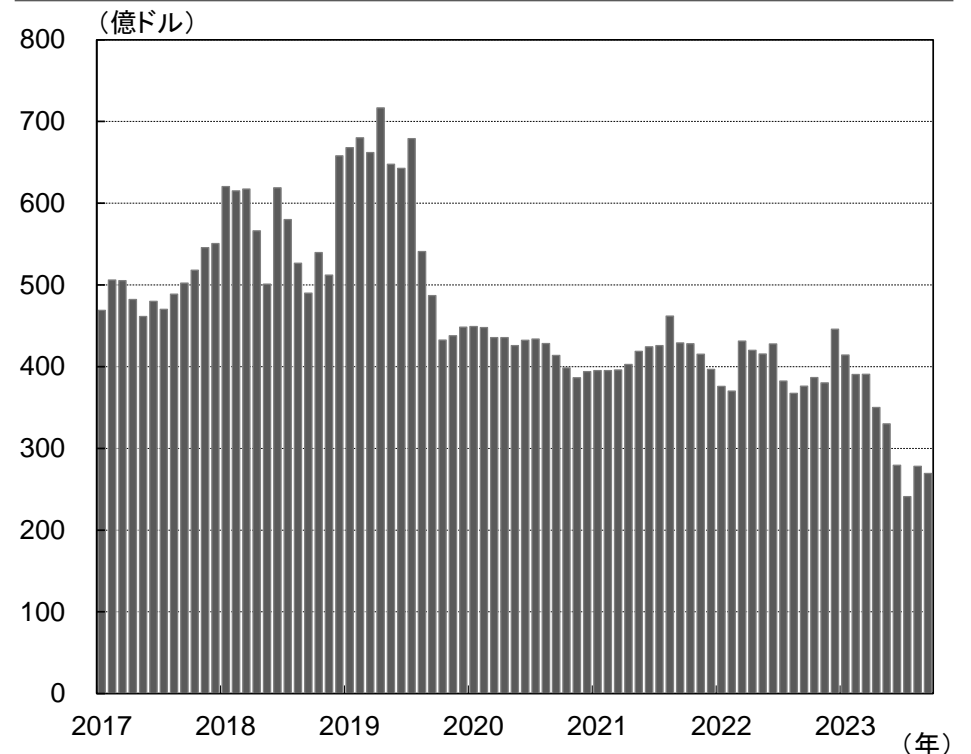
- 2023年7-9月期の経常収支は▲61億ドル(前年同期比▲26億ドル)と赤字幅が拡大。歴史的な干ばつの影響による輸出減少と輸入増加に伴い貿易収支が▲14億ドル(同▲25億ドル)と赤字に転じた。
- 9月末時点の外貨準備高は269億ドルと8月末時点の278億ドルからほぼ横這いで推移。

経常収支の推移



(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

外貨準備高の推移

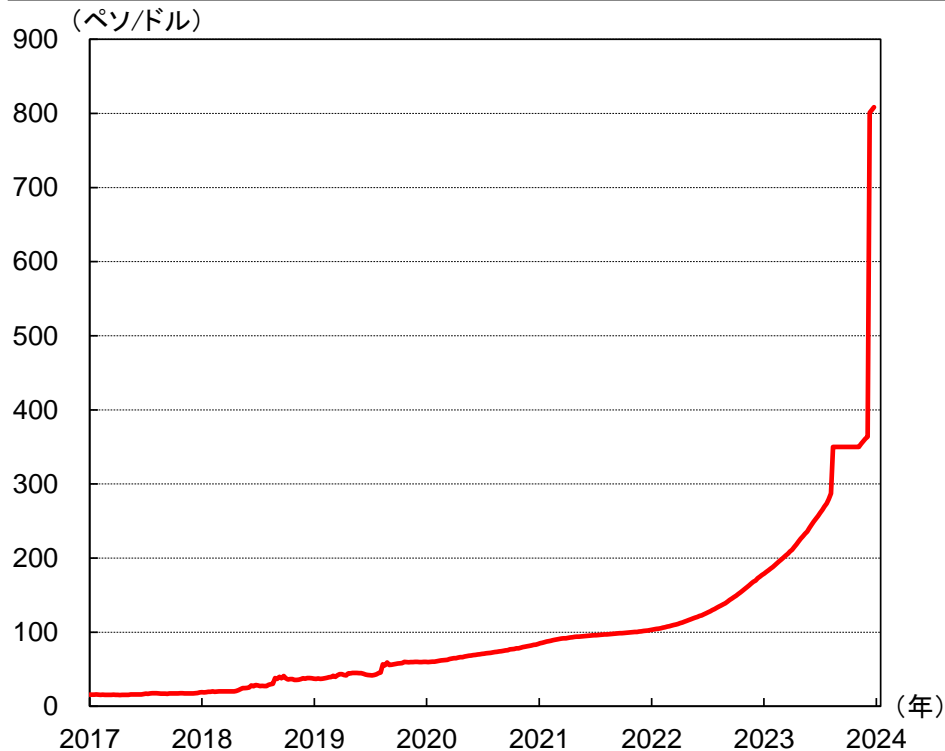


(資料)アルゼンチン中央銀行統計より国際通貨研究所作成

3. アルゼンチン (3) 金融市場

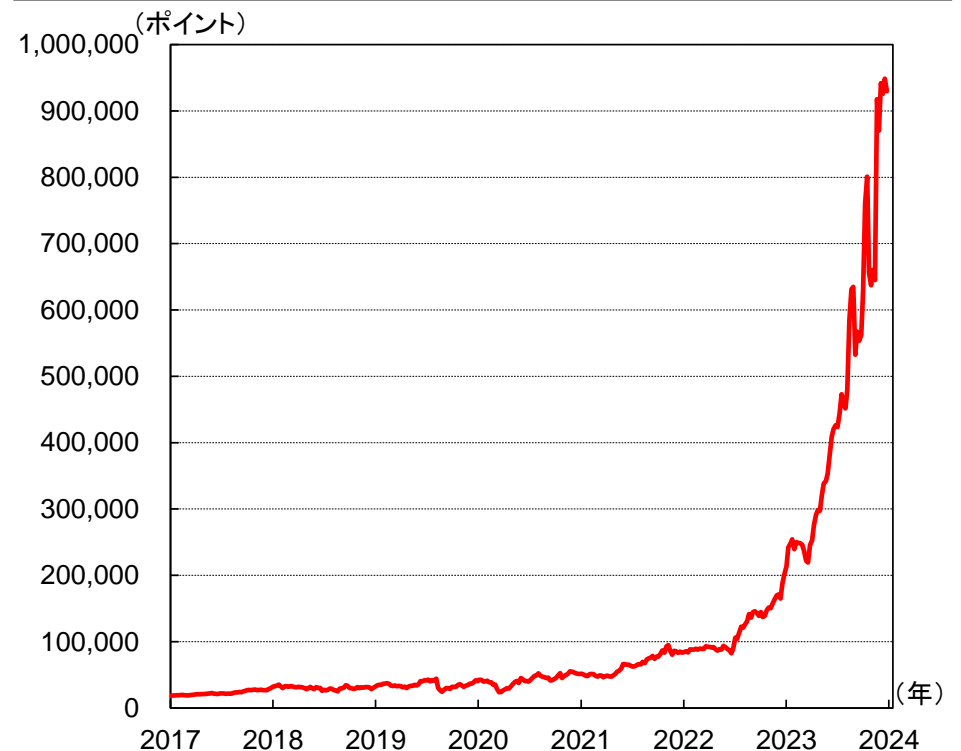
- 2023年12月、アルゼンチン新政府は経済の立て直しに向け、ペソの対ドル為替レートを54%切り下げ、公式為替レートを1ドル=800ペソに設定。
- 中央銀行は12月、通貨の切り下げと同時に、インフレと通貨安対策として政策金利を133%に引き上げ。
- 株価(メルバル指数)は、11月の大統領選決戦投票において右派のミレイ氏が勝利したことを受けて急上昇し、12月に940,000ポイント台まで上昇。

アルゼンチンペソ(対米ドル)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

株価(メルバル指数)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

3. アルゼンチン (4) 経済・金融概況

アルゼンチンの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2020	2021	2022	22/10-12	23/1-3	4-6	7-9	23/9	10	11	12
実質GDP成長率(前年比、%)	(▲9.9)	(10.7)	(5.0)	(1.5)	(1.4)	(▲5.0)	(▲0.8)				
鉱工業活動指数(前年比、%)	(▲7.1)	(17.2)	(4.2)	(0.2)	(2.7)	(0.1)	(▲3.5)	(▲3.3)	(▲0.8)	—	—
建設活動指数(前年比、%)	(▲18.7)	(53.4)	(3.5)	(▲4.1)	(▲0.8)	(▲3.2)	(▲4.5)	(▲4.5)	(3.0)	—	—
自動車生産台数(千台)	257	435	537	143	135	161	169	57	52	57	—
自動車販売台数(千台)	313	334	376	102	90	117	105	43	41	30	—
失業率(%)	(11.6)	(8.8)	(6.8)	(6.3)	(6.9)	(6.2)	(5.7)				
消費者信頼感指数	40.3	38.0	36.9	35.6	37.6	39.1	43.7	43.4	45.1	47.5	39.8
消費者物価上昇率(前年比、%)	(40.4)	(48.0)	(72.4)	(91.8)	(102.0)	(113.0)	(125.9)	(138.3)	(142.7)	(160.9)	—
輸出(FOB)(億ドル)	549	779	884	212	159	176	177	58	54	49	—
(前年比、%)	(▲15.7)	(42.0)	(13.5)	(8.0)	(▲17.9)	(▲29.8)	(▲22.5)	(▲23.5)	(▲32.2)	(▲31.6)	—
輸入(CIF)(億ドル)	424	632	815	157	163	196	191	65	58	55	—
(前年比、%)	(▲13.8)	(49.2)	(29.0)	(▲2.0)	(▲2.9)	(▲10.7)	(▲12.1)	(▲8.6)	(▲3.9)	(▲4.8)	—
貿易収支(億ドル)	125	147	69	55	▲4	▲20	▲14	▲8	▲4	▲6	—
外貨準備高(億ドル)◎	394	397	446	446	391	279	269	269	226	215	—
ベースマネー(億ペソ)◎	24,703	36,540	52,038	52,038	53,695	58,857	68,282	68,282	72,374	89,735	—
対民間部門貸出量(億ペソ)◎	37,618	53,574	90,862	90,862	107,441	135,944	172,774	172,774	194,263	—	—
(前年比、%)	(33.2)	(42.4)	(69.6)	(69.6)	(84.1)	(97.2)	(122.2)	(122.2)	(136.8)	—	—
経常収支(億ドル)	27	66	▲43	17	▲54	▲67	▲61				
対米ドル為替相場◎	84.15	102.75	177.13	177.13	208.99	256.68	99.72	350.01	350.03	360.53	808.48
株価指数(メルバル指数)◎	51,226	83,500	202,085	202,085	245,716	426,281	83,561	562,569	616,255	813,394	—

(注)*印:期中平均値、◎印:期末値

(資料)アルゼンチン中銀、国家統計センサス局、経済省、アルゼンチン大学、OECD、アルゼンチン経済省より国際通貨研究所作成

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。

会社名：株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室
〒100-8388 東京都千代田区丸の内2-7-1

照会先：国際通貨研究所 森川 央 morikawa@iima.or.jp
並木 馨子 keiko_namiki@iima.or.jp